

12. 基幹指標と意識指標の相関関係

(1) 相関関係の分析手法

各回答者の基幹指標と意識指標に該当する質問への回答を、肯定的意見（5点）から否定的意見（1点）まで順に点数化し、CORREL 関数を用いて各回答者の点数の相関係数を求め、相関関係を分析している。

ただし、基幹指標が2択の設問である場合は CORREL 関数を用いた相関分析は適していないため、クロス集計に基づく分析を行っている。

【選択肢ごとの点数】

点 数	(肯定的意見) ←————→ (否定的意見)				
	5	4	3	2	1
選択肢番号	1	2	3	4	5
選択肢内容	感じる	どちらかといえば感じる	どちらともいえない	どちらかといえば感じない	感じない
	感じた	やや感じた		あまり感じなかった	感じなかった
	感じている	やや感じている		あまり感じない	感じない
	思う	どちらかといえば思う		どちらかといえば思わない	思わない
	ある	どちらかといえばある		どちらかといえばない	ない
	しやすい	どちらかといえばしやすい		どちらかといえばしにくい	しにくい
	満足している	どちらかといえば満足している		どちらかといえば不満である	不満である
	満足	やや満足		普通	やや不満

【相関係数と相関の程度】

相関係数	相関
0.7～1.0	強い正の相関
0.4～0.7	正の相関
0.2～0.4	弱い正の相関
-0.2～0.2	ほとんど相関がない
-0.4～-0.2	弱い負の相関
-0.7～-0.4	負の相関
-1.0～-0.7	強い負の相関

相関係数は-1から1の間の値をとり、1に近いほど正の相関関係が強く、-1に近いほど負の相関関係が強いことを表している。また、無相関の場合には、相関係数は0に近い値となる。

* 正の相関：片方の値が上がれば、もう一方の値が一定の割合で上がる関係

* 負の相関：片方の値が上がれば、もう一方の値が一定の割合で下がる関係

なお、基幹指標と意識指標には、指標によって高齢者を対象とするものと全数を対象とするものがあるが、相関分析においては、意識指標の対象者は基幹指標に合わせた対象者としている。(意識指標の対象者が全数の場合でも、基幹指標が高齢者を対象としている場合は、意識指標の対象者を高齢者に限定する)

(2) 基幹指標【自分らしく暮らすことが出来ていると感じている高齢者の割合】(問 45)
と各意識指標の相関関係

基幹指標【自分らしく暮らすことが出来ていると感じている高齢者の割合】(問 45 : 65 歳以上) と意識指標の 9 項目の関連をみると、「余暇の過ごし方について満足しているか」と「仕事にやりがいを感じているか」については基幹指標との“正の相関”が見られる。その他の意識指標については、「交通機関は便利で利用しやすいか」は基幹指標と“ほとんど相関がない”ものの、「住環境に満足しているか」や「地域活動にやりがいを感じたか」など他の 6 指標については基幹指標との“弱い正の相関”が見られる。

意識指標	相関係数	相関
近所を安心して外出できるか (問12)	0.291	○ 弱い正の相関
交通機関は便利で利用しやすいか (問11)	0.152	ほとんど相関がない
住環境に満足しているか (問15)	0.329	○ 弱い正の相関
余暇の過ごし方について満足しているか (問27)	0.568	◎ 正の相関
長寿を肯定的にとらえているか (問19)	0.224	○ 弱い正の相関
地域活動にやりがいを感じたか (問31)	0.302	○ 弱い正の相関
仕事にやりがいを感じているか (問39)	0.483	◎ 正の相関
相談窓口は情報を入手しやすいか (問22)	0.214	○ 弱い正の相関
医療・福祉サービスは充実しているか (問24)	0.236	○ 弱い正の相関

(3) 基幹指標【あらゆる世代にとって住みよいまちであると感じている人の割合】(問 46)
と各意識指標の相関関係

基幹指標【あらゆる世代にとって住みよいまちであると感じている人の割合】(問 46) と意識指標の 9 項目の関連をみると、全体的に相関係数に大きな差異はないものの、「相談窓口は情報を入手しやすいか」と基幹指標については“ほとんど相関がない”と見られる。一方、「住環境に満足しているか」や「交通機関は便利で利用しやすいか」、「長寿を肯定的にとらえているか」など他の 8 指標については基幹指標との“弱い正の相関”が見られる。

意識指標	相関係数	相関
近所を安心して外出できるか (問12)	0.211	○ 弱い正の相関
交通機関は便利で利用しやすいか (問11)	0.228	○ 弱い正の相関
住環境に満足しているか (問15)	0.232	○ 弱い正の相関
余暇の過ごし方について満足しているか (問27)	0.201	○ 弱い正の相関
長寿を肯定的にとらえているか (問19)	0.224	○ 弱い正の相関
地域活動にやりがいを感じたか (問31)	0.209	○ 弱い正の相関
仕事にやりがいを感じているか (問39)	0.203	○ 弱い正の相関
相談窓口は情報を入手しやすいか (問22)	0.195	ほとんど相関がない
医療・福祉サービスは充実しているか (問24)	0.215	○ 弱い正の相関

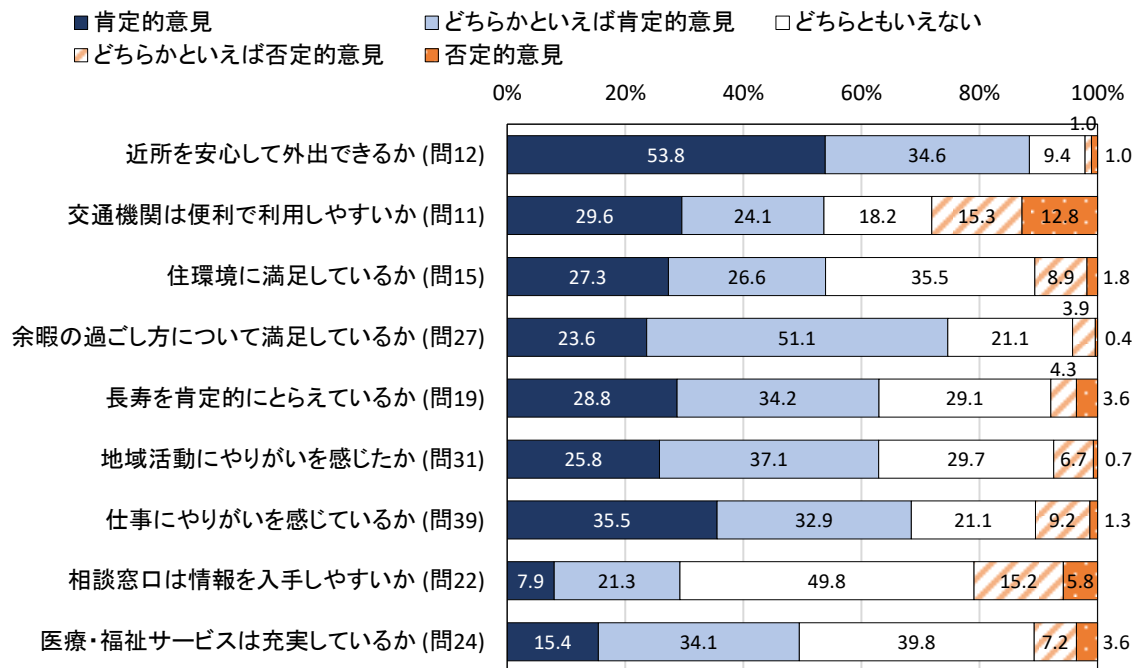
(4) 基幹指標【地域とのつながりがあると感じている高齢者の割合】(問48)と各意識指標の相関関係

基幹指標【地域とのつながりがあると感じている高齢者の割合】(問48:65歳以上)と意識指標の9項目の関連をみると、「交通機関は便利で利用しやすいか」や「仕事にやりがいを感じているか」、「長寿を肯定的にとらえているか」と基幹指標については“ほとんど相関がない”と見られる。一方、「地域活動にやりがいを感じたか」や「余暇の過ごし方について満足しているか」、「近所を安心して外出できるか」など他の6指標については基幹指標との“弱い正の相関”が見られる。

意識指標	相関係数	相関
近所を安心して外出できるか (問12)	0.263	○ 弱い正の相関
交通機関は便利で利用しやすいか (問11)	0.112	ほとんど相関がない
住環境に満足しているか (問15)	0.229	○ 弱い正の相関
余暇の過ごし方について満足しているか (問27)	0.288	○ 弱い正の相関
長寿を肯定的にとらえているか (問19)	0.179	ほとんど相関がない
地域活動にやりがいを感じたか (問31)	0.364	○ 弱い正の相関
仕事にやりがいを感じているか (問39)	0.154	ほとんど相関がない
相談窓口は情報を入手しやすいか (問22)	0.239	○ 弱い正の相関
医療・福祉サービスは充実しているか (問24)	0.223	○ 弱い正の相関

(5) 基幹指標【意欲的に社会と関わり、さまざまな活動に参加している高齢者の割合 (地域活動)】(問29)と各意識指標の相関関係

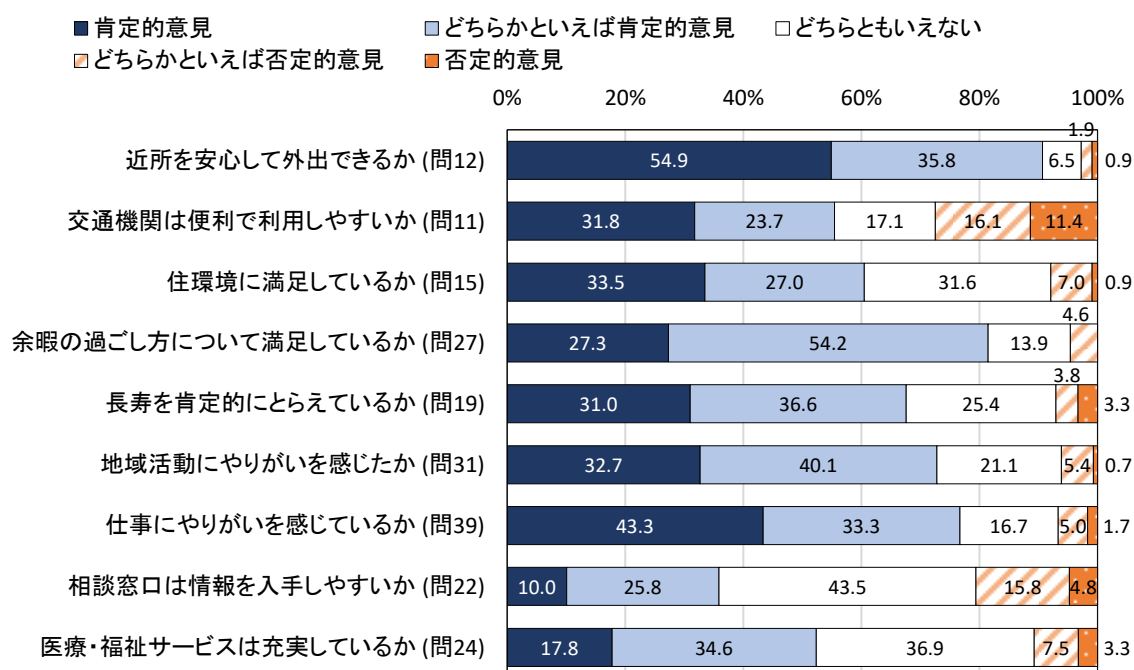
基幹指標【意欲的に社会と関わり、さまざまな活動に参加している高齢者の割合】と各意識指標の関係について、問29で地域活動に参加したことがあると答えた65歳以上の高齢者の意識指標9項目における回答割合をみると、『近所を安心して外出できるか』については「肯定的意見」(53.8%)と「どちらかといえば肯定的意見」(34.6%)を合わせた“肯定的意見”(以下も同じ)の割合が88.4%と各意識指標の中で最も高く、「否定的意見」と「どちらかといえば否定的意見」(各1.0%)を合わせた“否定的意見”(2.0%)を86.4%と大幅に上回っている。また、その他の意識指標でも“肯定的意見”が“否定的意見”の割合をいずれも上回っているが、『相談窓口は情報を入手しやすいか』については、“肯定的意見”の割合が29.2%と低く、“否定的意見”(21.0%)を8.2%上回るにとどまっている。



※問29で「参加したことがある」と回答した高齢者の、各意識指標該当設問への回答割合

(6) 基幹指標【意欲的に社会と関わり、さまざまな活動に参加している高齢者の割合 (社会参加)】(問 33) と各意識指標の相関関係

基幹指標【意欲的に社会と関わり、さまざまな活動に参加している高齢者の割合】と各意識指標の関係について、問 33 で生涯学習等の社会参加について参加したことがあると答えた 65 歳以上の高齢者の意識指標 9 項目における回答割合をみると、『近所を安心して外出できるか』については「肯定的意見」(54.9%)と「どちらかといえば肯定的意見」(35.8%)を合わせた“肯定的意見”(以下も同じ)の割合が 90.7%と各意識指標の中で最も高く、「否定的意見」(0.9%)と「どちらかといえば否定的意見」(1.9%)を合わせた“否定的意見”(2.8%)を 87.9 割と大幅に上回っている。また、その他の意識指標でも“肯定的意見”が“否定的意見”の割合をいずれも上回っているが、『相談窓口は情報を入手しやすいか』については、“肯定的意見”の割合が 35.8%と低く、“否定的意見”(20.6%)を 15.2 割上回るにとどまっている。



※問 33 で「参加したことがある」と回答した高齢者の、各意識指標該当設問への回答割合

13. 高齢者政策等についての意見

秋田市が取り組むべき高齢者政策等についての自由回答欄には、480人から531件の意見をいただいた。この意見を、秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画の8つの基本目標に基づいて分類した結果は以下の通りである。

分類項目 (秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画の基本目標)	件数
1 安全・安心で誰もが快適に過ごせる屋外環境の整備	61
2 交通機関の利便性の向上	82
3 安心して住み続けられる住環境の整備	9
4 生涯を通じた生きがいづくりや社会参加の促進	34
5 あらゆる世代がお互いを認め合う地域社会づくり	19
6 高齢者の就業や市民参加の機会創出	17
7 高齢者の情報環境の整備	39
8 多様な生活支援サービスを利用できる地域づくり	89
その他	181
総計	531

※ 自由記述に該当しない記載については、集計から除外している。

【参考】エイジフレンドリーシティ8つのトピック

WHO（世界保健機関）では、世界各国で実施した聞き取り調査結果から、高齢者にやさしい都市かどうかは、以下の8つのトピックについての検証が必要であるとしている。

秋田市では、エイジフレンドリーシティの実現に向け、WHOの8つのトピックをもとに基本理念「心豊かで活力ある健康長寿社会」を実現するためのまちづくりの方向性を示すものとして基本目標を設定している。

